

企画展

国指定重要文化財（坂東市みむら妙安寺所蔵）

聖徳太子絵伝

複製四幅初公開

令和5年
10月21日(土)

令和6年
1月14日(日)

開館時間 平日 午前10時～午後6時30分（土・日・祝 午後5時まで）
休館日 月曜日（※祝日は開館）11月24日、1月9日、年末年始、12月28日～1月4日
入館料 無料

坂東郷土館ミュージアム



坂東市立資料館 〒306-0502 茨城県坂東市山2726
TEL 0280-88-8700・0297-44-0055

最新の情報はホームページをご覧ください

「絹本着色聖徳太子絵伝」第4幅

企画展 国指定重要文化財
(坂東市みむら妙安寺所蔵)

複製四幅初公開

『聖徳太子絵伝』

坂東市に現存する文化財の中で、唯一の国指定重要文化財「絹本著色聖徳太子絵伝」(昭和43年指定)について近年、複製が制作されました。

鎌倉時代の作とされ、時系列ではない表現方法が鑑賞を難解にさせているものの、布教のために行われてきた「絵解き」や有識者の調査結果等から、1400年以上語り継がれてきた聖徳太子(574-622)のご事績と伝説を紐解きます。

さらに、「火防^{ひぶせ}の太子」の名で知られる妙安寺所蔵「木造 聖徳太子立像」(県指定文化財)についても「太子講」やつたえ話を交えて展示紹介します。

現在、東京国立博物館に寄託されている「絹本著色聖徳太子絵伝」を、複製という形で公開し、制作過程等と併せて、坂東市が誇る文化遺産を市内外の皆様に広く紹介する展覧会です。



誕生：母、穴穂部間人(あなほへのはひと)皇后が宮中を歩いていた時、厩にて産気づき太子を産する



3歳：父、用明天皇が太子に向かい桃花と松葉どちらを好むか聞いたところ、桃花が咲き誇るのは一時的だが松葉は永く緑を茂らせるとして松葉を賞賛する

2歳：東に向かって手を合わせて南無仏と唱える



22歳：四天王寺を建立する

37歳：隋の使いである裴世清(はいせいせい)が、太子のことを人格が優れた人物であるとみて下馬して遠くから礼拝する



茨城県指定文化財「木造 聖徳太子立像」
通称「火防(ひぶせ)の太子」



朗読グループ「ひばりの会」による
紙芝居「火伏せの太子」
11月5日①・12月17日①
各日午後1時30分より
会場：視聴覚ホール 参加自由

妙安寺住職による
聖徳太子絵伝「絵解き」
11月5日①・12月17日①
各日午後2時より
会場：展示室 参加自由